片山さつき地方創生担当大臣を訪問し、提言を手交

地方創生委員会の山下良則委員長と地下誠二委員長が４月19日、片山大臣を訪問し、提言『地方創生のさらなる推進のために―第２期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に向けて―』を手渡した。

山下委員長は、広島市や福山市での視察の事例を挙げながら、既存の行政単位にとらわれず、経済圏を中心とした圏域で地方創生の活動が容易となるよう制度改善を求めた。また、地方拠点強化税制の改善などについても要請した。

片山大臣はまず、本会の地方創生の取り組みについて、現場に足を運び、熱心に取り組んでいると謝意を示した。その上で、国全体のサスティナビリティを担保するために東京への一極集中は是正していく必要があり、特に女性に魅力ある仕事を地方でつくることの重要性を述べた。

片山大臣に提言を手交する山下委員長(左)と地下委員長

アドバイザリー・グループ第２回会合

４月16日、アドバイザリー・グループ会合が開かれた。

アドバイザリー・グループは2017年度の「経済同友会2.0を実践推進するPT」で提唱され、2018年度から実践に移された。第三者からの助言を組織運営に活かしていくために外部有識者で構成され、提言の内容や公表のタイミングの改善、および提言の実践活動の充実などに向けたアドバイスを得ることを目的としている。現在のメンバーは池尾和人 立正大学経済学部教授、小宮山宏 三菱総合研究所理事長、芹川洋一 日本経済新聞社論説フェロー、土居丈朗 慶應義塾大学経済学部教授、早坂礼子 中小企業基盤整備機構 機関紙編集長で構成されている。

各メンバーには毎月一回、提言や報告書・代表幹事コメントなどをお送りしてご覧いただき、これらを基に代表幹事に本会活動についてのアドバイスなどをいただくこととしている。今回の会合は昨年の11月に続き２回目となる。４月末に代表幹事の交代を控えていたため、小林代表幹事・横尾専務理事に加え、櫻田次期代表幹事、橋本次期専務理事（肩書はいずれも会合時）も参加され、Japan 2.0シンポジウム以降の当会の発信、その中でも示されたバックキャストの考え方、財政、コーポレート・ガバナンス、大学改革、若者に対する主権者教育、さらにBrexitまで、限られた時間の中でも幅広い意見交換がなされた。また女性の活躍については、経済同友会でも女性会員の比率は約８％であり道半ば、社会としても当会としても一層の推進が必要であるとの認識を新たにした。次回は秋ごろの開催を予定している。

No.818 May 2019
経済同友 5

C O N T E N T S

特集１

2019年度 通常総会
新体制スタート 櫻田謙悟新代表幹事
“いて欲しい国、いなくては困る国、日本”の実現に向けて 03

特集２

櫻田謙悟新代表幹事 就任インタビュー
グローバリズムのダークサイドに日本人の精神性で答えを見いだす 12

特集３

生徒・学生と経営者の交流活動 15

特集４

特別対談
グローバル化の中での経済と司法のあり方を考える
菊地裕太郎 弁護士／日本弁護士連合会 会長X小林喜光前代表幹事 24

Close-up 提言

先進技術による新事業創造委員会【報告書】
程 近智・小柴 満信 委員長
経営者自ら先進技術の動向を理解しデジタル改革の主導を 28

教育革新委員会【提言】
小林 いずみ 委員長
教員の役割を再定義しテクノロジーも活用して子どもたちに多様な学びの機会を 30

Column

私の一文字 櫻田 謙悟
「日本人の“心”が世の中のあり方を示す」 02

リレートーク 大谷 邦夫
「春の映画」 14

私の思い出写真館 小野 駿
「海外赴任先での旅行の思い出」 35

新入会員紹介 32
片山さつき地方創生担当大臣を訪問し、提言を手交 34
アドバイザリー・グループ第２回会合 34